

寒い日が続いていますがいかがお過ごしですか。SSH 文系チームから、SSH 便り第10号の発行です。

今回は、来月本校で行われる『SSH 研究成果発表会』についてのお知らせです！

SSH 研究成果発表会は、全国200校あるSSH指定校それぞれで行っている課題研究の成果発表の場です。本校では**2月13日(月)**に開催されます。専門家や県内の小中高校の先生方をお招きし、本校SSHの研究成果を発表する場になります。1,2年生のみなさんも5,6校時にディスカッションに参加してもらいます。

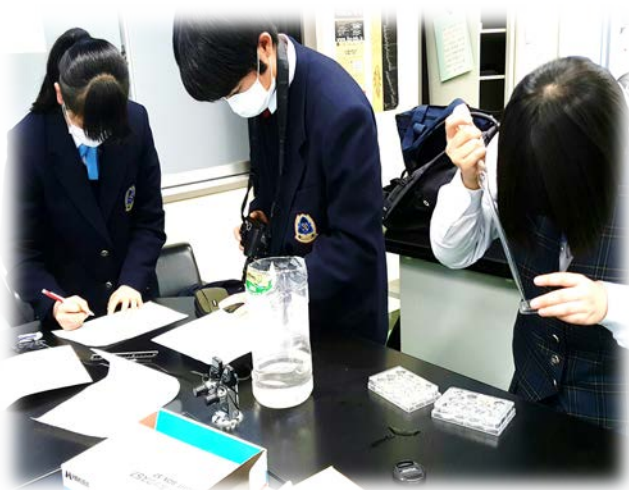
現在本校SSHでは26チーム、26研究が活動しています。研究発表に向けて着々と準備を進める蕪高生にインタビューし、皆さんにその様子と意気込みをお伝えしようと思います。1年6組、2年6組から計4つのチームに答えてもらいました。

インタビューで聞いた内容は、①研究内容 ②研究の進み具合 ③苦労していること ④研究成果発表会への意気込み、の4点です。

1つ目は2年6組から、『**傘ラジオの製作**』をテーマに研究しているチームのみなさんです。昨年度から継続して研究しており、傘ラジオの電線の巻き数と音量の関係を見つけることが出来たなど、研究は順調に進んでいるようです。研究成果発表会では、「自分たちの今まで研究してきたことをたくさんの人にしっかり伝えられるように頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。



製作した「傘ラジオ」



プラナリアチームの実験の様子

2つ目のチームは1年6組から、『**プラナリアの再生**』をテーマとしている皆さんです。可視光線とプラナリアの関係について研究しており、実験装置は手作りだそうです。その装置が失敗の連続であったり、プラナリアの採取がうまく出来なかったりと、実験には苦労したそうです。研究の進み具合はあまり良くなく、急ピッチで進めているようですが、「研究成果発表会では、たくさんの方が私達の研究に興味を持ってくれたら嬉しい！」と話してくれました。

3つ目のチームは同じく1年6組から。『**ニトロ化と火薬**』を研究テーマとしているみなさんです。右の写真では、「ニトロセルロース」という物質を作って燃やす実験をしています。実験が失敗したときの原因を探ることに苦労したそうですが、研究成果発表会では、『**ニトロ化**』を理解して貰えるように一生懸命説明したいと語ってくれました。



ニトロセルロースの燃焼実験



クリーンベンチで無菌操作中

最後は、『**シアノバクテリアの窒素固定**』をテーマに研究している、環境科学部の相原柊介さんにインタビューしました。この研究では、培養条件や窒素固定条件について調べているそうです。高度な内容を日々研究し、学校内外で活躍している、自然科学系三部の皆さんの発表にも注目です！  
研究発表をする皆さん、悔いのない発表ができるようがんばってくださいね。